

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪トヨペット箕面店新築計画	階数	地上2F
建設地	大阪府箕面市粟生新家1丁目	構造	S造
用途地域	準住居地域、第一種中高層住居専	平均居住人員	24人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2021年6月25日
敷地面積	4,028㎡	作成者	川口 正人
建築面積	2,757㎡	確認日	2021年6月30日
延床面積	4,216㎡	確認者	川口 正人



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★☆☆ C: ★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギーに配慮した空調・照明設備を採用している。設備更新性の高い構造としている。	その他 特になし
Q1 室内環境	特に無し	Q2 サービス性能 空間にゆとり、レストスペースの広さを十分に取る。設備更新性の高い構造としている。
Q3 室外環境(敷地内)	可能な限り植栽・植樹を計画し、緑の量の確保を目指す。自動灌水システムで維持を行い、従業員が植栽管理・清掃を行う等、	
LR1 エネルギー	省エネルギーに配慮した、空調・照明設備を採用している。	LR2 資源・マテリアル 特に無し
LR3 敷地外環境	適切な量の駐車・駐輪スペースを確保し、駐車場導入路を二か所設ける。大気汚染に配慮し、燃焼機器を採用しない。「広告物照明の扱い」配慮事項の過半を満たす。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0033

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)大阪トヨペット箕面店新築計画					
	建設地	大阪府箕面市粟生新家1丁目					
	用途/区分	物販店 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					2	
④	エネルギー削減					2	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	1.6	2
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.3	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		